

第13回 生物多様性研究センター勉強会

この勉強会は、名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科に設置された生物多様性研究センターの活動のひとつとして、研究計画(Research Proposal)、研究の進捗状況報告(Research Progress Report)、文献紹介(Journal Club)、その他センターの活動一般に関する意見交換や相互交流を目的に計画しました。

勉強会が有意義なひとときとなりますよう、皆様の積極的なご参加とご協力をお願いいたします。第13回勉強会の予定は以下の通りです。

日時 10月12日 (水) 19:00～

場所 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科
滝子(山の畑)キャンパス 5号館2階 259号室

話題 「カメ類のミトコンドリアゲノムにおける分子進化速度の不均一性」

話題提供者 山田 知江美氏 (所属: 名古屋市立大学・院・システム自然科学・生体情報専攻・生体構造情報系・熊沢研究室 研究員)

一般にカメ類の mtDNA 塩基配列は、他の陸上動物(例えば哺乳類)のものに比べてゆっくりと進化することが知られており、この現象をカメ類の代謝率の低さや長寿と結びつけて論じる仮説が提唱されている。しかし、カメ類の全ての系統において一様に進化速度の低下があるのか、mtDNA と核 DNA で速度低下パターンに違いが見られるのかなど未解明の点も多い。我々はこれらの点について検討を行うために、次世代シーケンサーを利用した並列解読によって、ヨコクビガメ科を中心とした4科8種のカメ類から mtDNA 全塩基配列を決定した。予察的な系統解析により、概して分子進化速度が遅いとされるカメ類 mtDNA の中でも、系統によって進化速度が極端に遅いもの、それほど速度低下が見られないものが混在していることが示唆された。この速度の増減が、個々のカメ類の生態学的・生理学的特徴と関係するのかどうかについて、さらに検討を進めていきたいと考えている。